

ASSET Course

ASSET コース (<https://www.facs.org/quality-programs/trauma/education/asset>) は米国外科学会 AMERICAN COLLEGE OF SURGEONS の外傷トレーニングコースで、実践的かつ教育的なコースのため 2010 年より米国を中心に欧州、カナダ、アジアにも急速に普及しています。ご遺体（生体とほぼ同じ質感で病原体による感染の危険性を伴わない Thiel 法もしくは新鮮凍結解）を用いて鋭的外傷・銃創に対する手術を学びます。受講者には事前にコース内容に即したマニュアルと手術の DVD が事前に配布され、これらを用いて知識、外科技術についての予習を行います。実際のコースでは、経験のある外傷外科医のもとでそれぞれの課題ごとに鋭的・銃創外傷症例のシナリオ提示とそれをもとにしたインストラクターと受講生とのディスカッション（診断、治療、そして外科的アプローチの方法）が行われ、続いて対応する手術手技をご遺体（1 体につき 1 名のインストラクター、4 名の受講生）を用いて頸部、四肢、胸部、腹部の重要血管へのアプローチ（以下、スケジュール参照）を 1 日で学びます。このコースの大きな特徴は本邦の一般外科医が普段の診療においてあまり経験することの少ない鋭的外傷・銃創の症例において緊急の外科的処置を必要とする出血をコントロールするための血管外傷に対する知識と外科技術を学ぶことが出来ることです。本邦での開催においてもコースディレクターは米国で臨床を行っている外傷外科医で、インストラクターも米国・その他諸外国で外傷外科の臨床研修（短期研修も含む）を経験のある外傷手術の経験豊かな外科医が多く携わっています。

本邦においても AMERICAN COLLEGE OF SURGEONS のコース開催基準に沿って行われており、ASSET コース日本の参加資格としては、「Advanced Trauma Life Support (ATLS) または Japan Advanced Trauma Evaluation and Care (JATEC) を受講し、外科専門医取得もしくはそれと同等の外科修練を終えていることが望ましい」と定めています。修了後には AMERICAN COLLEGE OF SURGEONS 認定の修了証が授与されます。過去 2 年間の日本開催において、受講生のアンケートでは平均 4.7（5 段階評価中）と非常に高い評価が得られています。今回の研修では看護師は診断、治療のディスカッションおよび外傷手術の器械出しに参加いたします。

ASSET コーススケジュール

| | | | |
|------|---|-------|--|
| 8:30 | ～ | 8:50 | 挨拶・献体・CAL に関する事前講義 |
| 9:00 | ～ | 9:45 | 実習 1 : 上肢 症例 1 : 腋窩(15 分) 症例 2 : 上腕(15 分) 症例 3 : 前腕(15 分) |
| 9:45 | ～ | 10:45 | 実習 2 : 下肢 |

| | | | |
|-------|---|-------|--|
| | | | 症例 4 : 大腿部(10分) 症例 5 : 膝窩部(30分)/筋膜切開(20分) |
| 10:45 | ~ | 11:40 | 実習 3 : 頸部 |
| | | | 症例 6 : 鎖骨下 - 鎖骨上(20分) 症例 7 : 頸動脈・内頸静脈(20分) 気管・食道(15分) |
| 11:40 | ~ | 12:30 | 昼食 |
| 12:45 | ~ | 14:00 | 実習 4 : 胸部 |
| | | | 症例 8 : 胸骨正中切開・上行大動脈(15分) 症例 9 : 左開胸・胸部大動脈(30分) 症例 10 : クラムシエル開胸・tractotomy(20分) 症例 11 : 近位鎖骨下動脈(10分) |
| 14:00 | ~ | 15:50 | 実習 5 : 腹部 |
| | | | 症例 12 : 骨盤パッキング(20分) 症例 13 : 腸骨血管への後腹膜アプローチ(25分) 症例 14 : Mattox 手技(20分) 症例 15 : Kocher・IVC(15分) 症例 16 : Kocher・Aorta(15分) 症例 17 : 肝臓 & 後腹膜 IVC(15分) |
| 16:00 | ~ | 16:30 | ポストテスト(講義室)・アンケート・修了証授与 |



コース風景